建交労大阪府本部
機関紙
発行元　府本部
電話 06-4800-7115

建交労大阪の仲間のみなさんが大阪争議支援総行動に結集する

大阪争議支援総行動は、前に各組織が結集し、早朝の午前８時15分から５月30日（金）淀屋橋駅約45分間、訴えました。

今年、大阪で争議となっている職場は、門真市職労の不当処分取消訴訟、日本公認会計士協会の不当解雇、絆ホールディングスの不当労働行為が争議中となっています。建交労からは、大阪合同支部・絆ホールディングスの河村組合員が訴えました。河村組合員は、「国の助成金で障害者の就労支援を行っている絆ホールディングスとグループであるユニバーサル・ラボは、建交労の組合員を嫌悪し、団体交渉拒否や不誠実交渉、組合員に対する差別や不利益な扱い、更にはパワハラ・恫喝、退職勧奨などあらゆる不当労働行為を行っています。

この不当労働行為をはねのけるため、現在、大阪府労働委員会に不当労働行為救済申立し、２０２５年２月３日に結審し、命令待ちになっている。皆様からのご支援に感謝します。そして、今後もご支援いただきますようお願いします。」と訴えました。

建交労から10名の仲間のみなさんが支援に駆けつけました。早朝の宣伝後は、女神像前で75名の参加で決起集会を行い、当事者から争議をたたかい抜く決意が語られました。

その後は、日本公認会計士協会が入っている大阪市中央区にあるビル前で抗議宣伝を行うとともに、要請班が日本公認会計士事務所に行き、団体交渉を拒否せずに誠実に交渉に応じるよう要請しました。

抗議宣伝後は、地下鉄本町駅前と堺筋本町駅前に分かれて、消費税を５％に引き下げる宣伝行動に取り組み、建交労大阪は堺筋本町駅前に結集。堺筋本町駅前では、荻田書記長が弁士を務めて訴えました。

大阪労連・福岡議長

淀屋橋駅前でビラ配布する建交労の仲間のみなさん

建交労フェスタIN広島に全国の仲間のみなさんが結集

1日目は国際会議場でオープニングセレモニー

建交労フェスタIN広島は、6月6日（金）から6月8日（日）の3日間のプログラムで開催しました。1日目は、広島国際会議場：フェニックスホールにおいて行い、女性部：廣瀬久子さんと青年部：内田知也の司会進行で始まりました。

国鉄広島ナッパーズのみなさん

せやがろおじさん

冒頭のオープニングセレモニーには「国鉄広島ナッパーズ」による演奏。素晴らしい歌声と楽器演奏で会場が盛り上がりました。　そして、広島県本部：小林豊数執行委員長あいさつがありました。その後にスタンダップコメディーショーでは、「せやろがおじさん」のお笑い。「せやろがおじさん」は、沖縄基地問題や国会議員を面白おかしくいじりながら楽しくお話してくれました。

今年は被爆80年をむかえる年でもあり、講師に笠岡貞江さんをお招きして実際の「被爆体験談話」を学びました。笠岡貞江さん（当時は、高等女学校1年生であった12歳で、原爆が投下された震源地から3、5キロ圏内は焼け野原になり、震源地近辺の人は、人間も真っ黒に焦げ、道ばたのあちらこちらで死んでいたが不思議と怖いと思わなかった。また、原爆が投下された後にも焼けただれた人たちが町中を徘徊し、『喉が渇いた、お水が飲みたい。と言い、川の水を飲み、あー美味しいと言いながら死んでいった』と戦争の悲惨な体験をリアルに語ってくれました。二度と戦争を繰り返してはならないと改めて感じました。

ホテルメルパルク・夕食交流会

フェニックスホールのセレモニー終了後は、メルパルクホテルにおいて、全体の夕食交流会を開催。全国の仲間のみなさんとの交流や沖縄県の組合員のみなさんによる楽器と歌などがあり、楽しく交流することが出来ました。

2日目 オプショナルツアー

２日目は、終日でオプショナルツアーとしてそれぞれの観光ツアーが取り組まれました。呉艦船巡り・西条酒蔵巡りツアーコース（現地観光Ａ）には71名が参加。原爆資料館・宮島観光ツアーコース（現地観光Ｂ１班・Ｂ２班）76名が参加しました。

また、比治山から見る爆心地と被爆の実相・宮島観光は、女性部企画として取り組まれ、広島県での碑巡り・バーベキューは、青年部企画として取り組まれました。

建交労大阪からは、呉艦船コースに14名が参加。宮島観光ツアーには、２名が参加し、終日で楽しい一時を過ごしました。

呉に停泊中の艦船

西条酒蔵巡り：関西支部

厳島神社・関西合同支部

3日目 国際会議場で閉会

３日目は、最終日で国際会議場：ひまわりで行い、女性部・坂田美紀子さんと青年部・鈴木美夏さんが司会進行。冒頭には、オープニングセレモニーや夕食交流会の写真、観光ツアーの写真などフェスタムービーにしていただいたものを視聴。仲間のみなさんが楽しく過ごされた様子が映し出され感動しました。

その後は、６業種（学童・建設・労職・高齢者事業団・トラック・ダンプ）による「建交労業種別運動に望むもの・将来展望」をお題にシンポジウムを行いました。そして、建交労現役組合員で最高齢の廣木昭代さんを囲んで、お話を聞きました。

廣木さんは、全日自労時代に組合結成をした頃の話しや戦争の実体験の話しなど多岐にわたって話しをされました。

最後に３人の方からフェスタに参加した感想などが述べられ、足立浩執行委員長による団結がんばろうでフェスタを無事終えることが出来ました。

原爆ドーム

現役組合員の最高齢者

廣木昭代さんを囲んでのトーク

2025年春闘交流集会へ建交労が結集

大阪春闘共闘委員会と大阪労連の主催で行われた、２０２５年春闘交流集会は、６月１４日（土）午後１３時から国労大阪会館で行われました。司会進行は、大阪労連の三枝花世幹事。冒頭に主催者を代表して福岡泰治議長があいさつ。福岡議長は、「物価高騰による国民・労働者の生活は非常に厳しい状況になっている。こうした中で今年の春闘は物価高騰を上回る賃上げをめざして奮闘されたと思いますが、一部の大企業の大幅賃上げにとどまり、中小零細企業にまで大幅賃上げが及んでいないのが現状です。」と述べ「各職場での春闘がどうだったのか交流して実りある春闘交流集会にしよう。」と呼びかけました。その後、嘉満智子事務局長から全国的な到達状況の報告があり、各産別と地区協５名から特別報告がありました。休憩後は、各グループに分かれて、「２５春闘をふり返って」「非正規労働者の処遇改善のたたかいがどうだったのか」「地域の取り組みについて（春闘宣伝・学習会・決起集会）」などのテーマで分散会を行いました。建交労からは、橋本稔副委員長と関西合同支部・長谷川達三組合員が参加。建交労からは、「２５春闘の到達状況、組織拡大・強化の取り組みと課題」について報告しました。全体の参加者は、４４名、建交労大阪から２名が参加しました。

大阪労連・福岡泰治議長

関西合同支部・長谷川達三組合員

大阪府本部・橋本稔副委員長